

6 子育て支援施設

(1) 保育園

(2) 幼稚園

児童福祉法の規定に基づく公立保育所 4 施設（明浜地域 1 施設、宇和地域 1 施設、野村地域 1 施設、三瓶地域 1 施設（令和 4 年度譲渡済））、学校教育法の規定に基づく公立幼稚園 2 施設（野村地域 2 施設）、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく公立認定こども園 1 施設（城川地域 1 施設）の計 7 施設を設置・運営しています。このほか、2 園を休止、廃止しています。

なお、市内には、民間の保育園が 8 園、幼稚園が 2 園、認定こども園が 2 園設置されています。

ア 施設概要（経過年数は令和 4（2022）年 3 月 31 日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元（2019）年度の実績。）

番号	地域	地区	施設名	基本情報												備考	施設番号
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積(㎡)	耐震性	貸室稼働率(%)	管理運営	職員数(人)	支出(千円)	収入(千円)	入所児童数/入所定員(人)		
1	明浜	俵津	西予市俵津保育所		RC	1981	41	854.80	△	-	直営	正6・非9	70,169	4,582	48/60		343
2	宇和	中川	スマイル保育園		W	2018	4	323.09	○	-	直営	正6・非8	46,058	2,676	10/15		22108
3	野村	野村	西予市立野村幼稚園		RC	1979	43	724.00	○	-	直営	正5・非7	48,250	2,512	49/175		340
4	野村	野村	西予市野村保育所		W	2020	2	1,279.90	○	-	直営	正10・非21	117,920	10,153	98/125	職員数等の数値は仮設の数値	22200
5	野村	惣川	西予市立惣川幼稚園		W	2004	18	218.00	○	-	直営	正3	15,623	40	8/20		341
6	城川	魚成	西予市魚成保育所		RC	1982	40	588.00	○	-	直営	-	-	-	未使用		349
7	城川	魚成	西予市認定こども園しろかわ保育所		RC	1999	23	986.80	○	-	直営	正8・非12	70,639	7,965	64/65		373
8	三瓶	三瓶	西予市三瓶保育園		RC	1990	32	878.72	○	-	直営	正6・非10	58,064	7,767	67/90	職員数等の数値は譲渡前の数値	350
9	三瓶	二本生	西予市二本生保育園		RC	1992	30	505.00	○	-	直営	-	-	-	未使用		351

注釈：野村保育所は、令和元年に除却しており、令和2年11月に新設された施設の事業概要を記載しています。

西予市土居保育所は、令和3年度に除却しています。

旧高山保育所（施設番号342）は、普通財産に情報を記載しています。

三瓶保育園は、令和4年度に民間譲渡しています。

イ 現状と課題

保育園は、年末年始と日曜祝日を除く毎日、7時から18時まで保育等を実施しています（ただし、土曜日は希望保育として実施）。

このほか、特別保育事業として、認定こども園しろかわ保育所で一時預かり保育（半日 750 円、1 日 1,750 円、給食代：別途 250 円）、すべての園で短時間延長保育（月 1,000 円）、障がい児保育を実施するとともに、子育て支援の取組みとして、全園で未就園児交流や地域交流、育児相談などを実施しています。

保育園の対象となる児童は、0 歳児から 5 歳児までで、4 つの保育所と 1 つの認定こども園の入所児童数（平成 31 年 4 月 1 日現在）の合計は 287 人（認可定員 355 人）となっています。

保育園の管理運営は市直営で行い、保育士等の人件費を含む管理運営総額は 362,850 千円で、保育料などで 33,143 千円の収入があります。（令和元年度実績：市一般財源からの負担額は 303,646 千円、園児一人当たり 1,058 千円、園児数 287 人で算定）

一方、8 つの民間保育園、2 つの認定こども園の入所児童数（平成 31 年 4 月 1 日現在）の合計は 574 人（認可定員 613 人）となっています。市から運営費として 604,513 千円を支出しており、保育料 8,737 千円は市の収入となっています。なお、市が民間保育園に支出する運営費に

対しては、国と県を合わせ 468,014 千円の補助金が充てられています。（令和元年度実績：市一般財源の負担額は 136,499 千円、園児一人当たり 238 千円 園児数 574 人で算定）

幼稚園は、年末年始と土日祝日、夏季・冬季・春季の休業期間を除く毎日、8 時 30 分から 14 時までを通常保育として運営しています。但し、14 時から 18 時までの預かり保育（1 時間 100 円）を実施しています。

幼稚園 2 園の管理運営についても直営で行い、教員等の人件費を含む管理運営費の総額が 63,873 千円で、保育料等を含む 2,552 千円の収入があります。なお、民間幼稚園（2 園）には、私立認定こども園（幼稚園）施設型給付費として 43,869 千円の負担金を交付しています。

休止、廃止施設を含む 9 施設のうち、耐震基準を満たしている施設は 8 園で、旧耐震基準で建設している施設は 1 園となっています。また、3 園が建築から 35 年以上経過して老朽化が進んでいます。

【各施設の状況】

1 西予市俵津保育所

鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 854 m²で、1981（昭和 56）年に旧耐震基準で建設し、耐震診断・耐震改修は未実施で、建築から 41 年経過し老朽化が進んでいます。

認可定員 60 名に対し、48 人の児童が入所し、保育士等の人件費を含む管理運営費 70,169 千円を支出し、保育料等として 4,582 千円の収入があります。

2 スマイル保育園

木造 1 階建て・延床面積 323 m²で、2018（平成 30）年に新耐震基準で建設し、建築から 4 年経過しています。

西予市民病院内の事業所内保育所として、病院職員の児童のほか、地域の保育を必要とする子どもの保育（地域枠）を設けて実施しています。また、保育所などに通っている子どもが病気になった際、仕事を休めない保護者の代わりに子どもの保育をするサービス（病児保育事業）も行っています。

認可定員 15 名に対し、10 人の児童が入所し、保育士等の人件費を含む管理運営費 46,058 千円を支出し、保育料等として 2,676 千円の収入があります。

3 西予市立野村幼稚園

鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 724 m²で、1979（昭和 54）年に旧耐震基準で建設し、2014（平成 26）年に耐震改修・大規模改修工事を実施していますが、建築から 43 年経過し老朽化が進んでいます。

認可定員 175 名に対し、49 人の児童が入所し、このうち預かり保育の利用者は 26 人となっています。教員等の人件費を含む管理運営費 48,250 千円を支出し、保育料等として 2,512 千円の収入があります。預かり保育に関する費用と収入は、幼稚園の管理運営費及び収入に含まれています。

4 西予市野村保育所

平成 30 年 7 月豪雨により旧施設が被災したため、2020（令和 2）年に移転新築し、建築から 2 年経過しています。新施設は、木造一部鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 1,279 m²です。

仮設保育所の認可定員 125 名に対し、98 人の児童が入所し、保育士の人件費を含む管理運営

費 117,920 千円を支出し、保育料等として 10,153 円の収入があります。

5 西予市立惣川幼稚園

木造 1 階建て・延床面積 218 m²で、2004（平成 16）年に新耐震基準で建設し、建築から 18 年経過しています。

認可定員 20 名に対し、8 人の児童が入所し、教員等の人件費を含む管理運営費 15,623 千円を支出し、保育料等として 40 千円の収入があります。

6 西予市魚成保育所

鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 588 m²で、1982（昭和 57）年に新耐震基準で建設し、建築から 40 年経過し老朽化が進んでいます。

平成 30 年 3 月末に、認定こども園しろかわ保育所に機能を移転し、未使用となっています。

7 西予市認定こども園しろかわ保育所

旧城川保健センターを転用した施設で、鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 986 m²。1999（平成 11）年に新耐震基準で建設し、建築から 23 年経過しています。転用時 2017（平成 29）年に改修工事を行っています。

認可定員 65 名に対し、64 人の児童が入所し、保育士等の人件費を含む管理運営費 70,639 千円を支出し、保育料等として 7,965 千円の収入があります。

8 西予市三瓶保育園

鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 878 m²で、1990（平成 2）年に新耐震基準で建設し、建築から 32 年経過しています。

認可定員 90 名に対し、67 人の児童が入所し、保育士等の人件費を含む管理運営費 58,064 千円を支出し、保育料等として 7,767 千円の収入があります。

令和 4 年 4 月 1 日に市内社会福祉法人へ民間譲渡しています。

9 西予市二木生保育園

鉄筋コンクリート造 1 階建て・延床面積 505 m²で、1992（平成 4）年に新耐震基準で建設し、建築から 30 年経過しています。

平成 27 年 4 月 1 日より、休園しています。

【課題の整理】

少子化に伴う児童数が減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加に伴い、保育にかかるニーズが高まっていること、教育費の無償化に伴い保育需要の増加が見込まれることから、引き続き保育園の機能は必要です。

ただし、市内には、多くの民間保育園や幼稚園、認定こども園が設置されていることを踏まえ、民間と公立のサービス水準がほぼ同等の中で、費用対効果も視野に入れ、公立保育所の役割を明確にしたうえで、西予市公立保育所（園）のあり方に関する基本方針に基づき、配置のあり方について検討が必要です。

その上で、現在、設置・運営している 7 施設のうち、今後も公立保育所等として継続していく施設については、計画的な改修が必要です。

なお、廃止、休園中の施設については、関係者との協議の上、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（厚生労働省所管一般会計補助金等に係る財産処分承認基準）の関係を整理し、譲渡を含め、有効活用について検討が必要です。

ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

【基本方針】

《保育所・保育園施設》

【機能】【建物】

少子化の進展に伴い乳幼児数が減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加や、令和元年 10 月からの保育料の無償化に伴い潜在的な保育需要の増加が見込まれることから、子育て支援の一環として、引き続き、保育所の機能は継続します。

ただし、園によっては、保育ニーズの減少により定員を下回っていることや、老朽化が進んでいる施設もあることから、「西予市公立保育所（園）のあり方に関する基本方針」に基づき、公立保育所の役割を明確にした上で、経営のあり方、配置のあり方について検討します。

上記の検討結果に基づき、今後も公立保育所として維持していく施設については、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

《幼稚園施設》

【機能】【建物】

幼児教育に対する一定のニーズがあるものの、各園とも定員に対して在籍園児数が下回っており、「西予市公立保育所（園）のあり方に関する基本方針」に基づき、今後のあり方について検討します。

【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能（ソフト）	建物（ハード）		
1	明浜	俵津	西予市俵津保育所	継続	維持（修繕） ・検討		認可定員60名に対して平成31年4月1日現在の入所児童数は48人です。 施設は、旧耐震基準で建設し、建築から41年経過し老朽化が進んでいます。 当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、西予市公立保育所（園）のあり方に関する基本方針に基づき、今後のあり方について検討します。
2	宇和	中川	スマイル保育園	継続	維持 （長寿命化）		認可定員15名に対して、平成31年4月1日の入所児童数は10人です。 西予市民病院内の事業所内保育所として、病院職員のほか、地域住民の保育需要にも応えていることから、継続します。 施設は、耐震基準を満たし、建築から4年経過しています。 今後も継続使用することから、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
3	野村	野村	西予市立野村幼稚園	検討	検討		認可定員175名に対して、平成31年4月1日現在の入所児童数は49人です。 施設は、旧耐震基準の建物で、平成26年に大規模改修工事を実施していますが、建築から43年経過し老朽化が進んでいます。 野村保育所との機能統合による認定こども園化を進めます。当施設については有効活用を含め、今後のあり方を検討します。補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律との関係を整理したうえで施設の対応を図ります。
4	野村	野村	西予市野村保育所	継続	維持 （長寿命化）		認可定員125名に対して平成31年4月1日現在の入所児童数は98人です。（仮設保育所） 平成30年7月豪雨により被災しましたが、令和2年度に移転新築し、建築から2年経過しています。 野村幼稚園との機能統合による認定こども園化を進め、施設については計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
5	野村	惣川	西予市立惣川幼稚園	継続	維持（改修）		認可定員20名に対し、平成31年4月1日現在の入所児童数は8人です。 施設は、耐震基準を満たし、建築から18年経過しています。 山間地域にある特性から、必要な改修を行い継続使用します。なお、機能については、野村幼稚園・野村保育所の機能統合による認定こども園化に合わせて分園化を進めます。
6	城川	魚成	西予市魚成保育所	移転	検討		平成30年3月末に、認定こども園しろかわ保育所に機能を移転しています。 施設は、耐震基準を満たし、建築から40年経過し老朽化が進んでいます。当面、利用が可能なことから有効活用等について検討します。
7	城川	魚成	西予市認定こども園しろかわ保育所	継続	維持 （長寿命化）		認可定員65名に対して、平成31年4月1日の入所児童数は64人です。 耐震基準を満たし、建築から23年経過しています。 今後も継続使用することから、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能 (ソフト)	建物 (ハード)		
8	三瓶	三瓶	西予市三瓶保育園	譲渡	譲渡		認可定員90名に対して平成31年4月1日の入所児童数は67人です。施設は、耐震基準を満たし、建築から32年経過しています。令和4年4月1日に市内社会福祉法人へ民間譲渡しています。
9	三瓶	二木生	西予市二木生保育園	廃止	検討		平成27年4月1日より、休園状態となっています。今後も再開の見込みがないことから機能は廃止しますが、施設は、耐震基準を満たし、建築から30年経過しているものの、当分の間使用が可能なことから、他の用途での有効活用等について検討します。有効活用や譲渡の見込みがない場合は、廃止(除却)します。

【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (5年目)	R10年度 (6年目)	R11年度 (7年目)	R12年度 (8年目)	R13年度 (9年目)	R14年度 (10年目)
		機能 (ソフト)	建物 (ハード)										
○	共通方針 ・経営のあり方、配置にあり方検討			西予市公立保育所(園)のあり方に関する基本方針に基づき経営のあり方・配置のあり方について検討									
2	スマイル保育園	継続	維持 (長寿命化)	保全計画の策定									
7	西予市認定こども園しろかわ保育所	継続	維持 (長寿命化)	計画に基づく対応									
4	西予市野村保育所	継続	維持 (長寿命化)	令和4年度までの検討結果に基づく対応									
5	西予市立惣川幼稚園	継続	維持(改修)	保全計画の策定									
1	西予市俵津保育所	継続	維持(修繕) ・検討	↑ 当面、必要な修繕を行い継続使用 今後のあり方検討									
8	西予市三瓶保育園	譲渡	譲渡	譲渡の協議結果に基づく対応									
3	西予市立野村幼稚園	検討	検討	令和4年度までの検討結果に基づく対応									
6	西予市魚成保育所	移転	検討	有効活用等の検討									
9	西予市二木生保育園	廃止	検討	有効活用等の検討									

エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の 方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間＝令和5年～令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持 した場合	本計画を実施 した場合	現状維持 した場合	本計画を実施 した場合	
1	西予市俵津保育所	維持(修繕)・検討	427,400	352,605	70,169	70,169	
2	スマイル保育園	維持(長寿命化)	54,925	26,655	46,058	46,058	
3	西予市立野村幼稚園	検討			48,250	48,250	
4	西予市野村保育所(新保育所の内容を記載)	維持(長寿命化)	217,583	105,592	117,920	117,920	
5	西予市立惣川幼稚園	維持(改修)	37,060	89,925	15,623	15,623	
6	西予市魚成保育所	検討			0	0	
7	西予市認定こども園しろかわ保育所	維持(長寿命化)	493,400	276,797	70,639	70,639	
8	西予市三瓶保育園	譲渡	0	0	58,064	0	
9	西予市二木生保育園	検討			0	0	
概算事業費(合計)			1,230,368	851,574	426,723	368,659	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②－①		単年度の維持管理 経費の比較④－③	
▲ 378,794		▲ 58,064	

6 子育て支援施設

(3) 放課後児童クラブ

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に対し、授業終了後や長期休暇等の際に適切な遊び及び生活の場を提供し、家庭・地域等との連携のもと健全な育成を行う放課後児童クラブ 9 施設（うち 4 施設は民間施設を借用）を設置しています。

ア 施設概要（経過年数は令和 4（2022）年 3 月 31 日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元（2019）年度の実績。）

番号	地域	地区	施設名	基本情報												備考	施設番号
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積（㎡）	耐震性	貸室稼働率（%）	管理運営	職員数（人）	支出（千円）	収入（千円）	利用者数/定員		
1	明浜	俵津	おれんじクラブ	○	RC	1988	34	80.25	○	-	直営	委託	5,984	3,989	14/31	明浜中学校（施設概要 面積算定外）	313
2	宇和	中川	ななほし中川		LGS	2022	0	111.85	○	-	直営	委託	5,704	3,802	42/33	民間施設借用時実績	-
3	宇和	宇和	トロクラブ	○	W	2004	18	102.88	○	-	直営	委託	7,233	4,822	42/40	宇和児童館	352
4	宇和	宇和	なかよしクラブ		W	2018	4	80.77	○	-	直営	委託	7,704	5,136	40/40	民間施設を借用	-
5	宇和	宇和	てっぺん広場		W	2016	6	157.80	○	-	直営	委託	6,439	4,292	5/25	民間施設を借用	-
6	宇和	皆田	明下田クラブ		W	2021	1	111.91	○	-	直営	委託	5,592	3,728	38/21	専用施設	22211
7	野村	野村	のむらキッズ	○	RC	2015	7	369.75	○	-	直営	委託	7,312	4,874	59/40	野村児童館・図書交流館野村分館	169
8	城川	魚成	しろかわキッズ		W	1985	37	80.00	○	-	直営	委託	5,265	3,510	21/25	旧城川中学校教職員宿舎	22148
9	三瓶	三瓶	すこやか児童クラブ		S	2004	18	105.97	○	-	直営	委託	7,637	5,091	42/40	民間施設を借用	-

注釈：明浜中学校全体の延床面積4808.59㎡の内訳（明浜中学校4,728.34㎡、おれんじクラブ（放課後児童クラブ）80.25㎡）
西予市宇和児童館全体の延床面積743.60㎡の内訳（西予市宇和児童館640.72㎡、トロクラブ（放課後児童クラブ）102.88㎡）
西予市野村児童館全体の延床面積1591.41㎡の内訳（西予市野村児童館374.85㎡、西予市図書交流館野村分館846.81㎡、のむらキッズ（放課後児童クラブ）369.75㎡）
おれんじクラブは令和3年度の施設情報、てっぺん広場は令和2年度の施設情報、明下田クラブは令和2年度に新築した施設情報を記載しています。
ななほし中川は令和3年度に新築した施設情報を記載しています。

イ 現状と課題

市内 12 小学校区のうち 10 校区¹を対象に 9 クラブ²を設置し、9 施設のうち、専用施設が 1 施設、学校校舎内の設置が 1 施設、他の公共施設の転用が 1 施設、他の公共施設との複合化が 2 施設、民間施設の借用が 4 施設で、民間借用を含めすべて耐震基準を満たし、建築から 35 年以上経過している施設が 1 施設となっています。

放課後児童クラブの対象は、昼間、保護者が家庭にいない小学1年生から6年生の児童で、放課後児童支援員等による生活指導など、児童の健全育成を図っています。

開設日・開設時間は、「類型 1」は、年末年始と日曜・祝日を除く毎日、平日は放課後から 18 時、土曜日と長期休暇期間（日曜日を除く）は 7 時 30 分から 18 時までで、「類型 2」は、休所日にお盆休み（8 月 13 日～15 日）を追加し、いずれも延長を 19 時まで実施しています。

管理運営はすべて市直営（社会福祉法人等に業務委託）で行い、業務委託費（施設の維持管理費を含む）の総額は 58,870 千円で、国・県から運営費補助金（各 1/3）として 39,244 千円の収入があります。なお、放課後児童クラブの利用料（1 人 6,000 円/月額、土曜・長期休暇時の付加料金 1 人 300 円/日額）は運営事業者が設定し、徴収しています。

一部の施設で定員を超える利用登録がありますが、すべての施設で必要な基準面積（1.65 ㎡/1 人）を満たしています。なお、令和 2 年 4 月現在 3 名の待機児童が発生しています。

¹惣川・大野ヶ原小学校区は放課後児童クラブが未整備。

²多田・中川・石城小学校区を対象に 1 クラブ、宇和町小学校区を対象に 3 クラブ、皆田・田之筋小学校区を対象に 1 クラブ、明浜・野村・城川・三瓶小学校区を対象に各 1 クラブが活動。

【各施設の状況】

1 おれんじクラブ

俵津集落総合施設の一部を使用していましたが、2021（令和3）年度から明浜中学校校舎内に移転し、鉄筋コンクリート造3階建て延床面積2,740㎡の一部80㎡を使用しています。1988（昭和63）年に新耐震基準で建設し、建築から34年経過しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料5,984千円を支出し、国・県からの運営費補助金として3,989千円の収入があります。

施設は、保育室1室で構成。定員31名に対し14人の登録（構成児童数は12人）となっています。

2 ななほし中川（民間施設借用時）

民間の通所介護事業所の一部59㎡を借用（無償）しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料5,704千円を支出し、国・県からの補助金として3,802千円の収入があります。

施設は保育室1室で構成。定員33名に対し42人の登録（構成児童数は38人）となり、児童1人あたりの基準面積は登録者数、構成児童数とも下回っていることから、2020（令和2）年度から中川小学校（2階音楽室：94㎡）に増設し基準面積を満たしています。

3 トトロクラブ

宇和児童館との併設で、木造1階建て・延床面積743㎡の一部102㎡を使用しています。2004（平成16）年に新耐震基準で建設し、建築から18年が経過しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料7,233千円を支出し、国・県からの補助金として4,822千円の収入があります。

施設は保育室2室で構成。定員40名に対し42人の登録（構成児童数は38人）となっています。

4 なかよしクラブ

民間の認定こども園の一部80㎡を借用（無償）しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料7,704千円を支出し、国・県からの補助金として5,136千円の収入があります。

施設は、保育室1室で構成。定員40名に対して40人の登録（構成児童数は39人）となっています。

5 てっぺん広場

民間の宿泊施設の一部157㎡を借用（有償）しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料6,439千円（うち施設賃借料2,808千円）を支出し、国・県からの補助金として4,292千円の収入があります。

施設は保育室1室で構成。定員25名に対し5人の登録（構成児童数は4人）となっています。

6 明下田クラブ

下宇和公民館の一部を使用していましたが、2021（令和3）年度から専用施設（木造1階建て・延床面積111㎡）に移転しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料5,592千円を支出し、国・県からの補助金として3,728千円の収入があります。

施設は保育室1室、事務室1室で構成。定員21名に対し38人の登録（構成児童数は32人）

となっています。

7 のむらキッズ

野村児童館、図書館野村分館との複合施設で、鉄筋コンクリート2階建て・延床面積1,591の一部369㎡を使用しています。2015（平成27）年に新耐震基準で建設し、建築から7年が経過しています。

開設日・開設時間は類型2のとおりで、業務委託料7,312千円を支出し、国・県からの補助金として4,874千円の収入があります。

施設は保育室1室、静養室1室で構成。定員40名に対し59人の登録（構成児童数は54人）となっています。

8 しろかわキッズ

旧城川中学校教職員宿舎を転用している施設で、木造1階建て・延床面積80㎡。1985（昭和60）年に新耐震基準で建設し、建築から37年経過しています。

開設日・開設時間は類型2のとおりで、業務委託料5,265千円を支出し、国・県からの補助金として3,510千円の収入があります。

施設は保育室1室、事務室1室で構成。定員25名に対し21人の登録（構成児童数は21人）となっています。

9 すこやか児童クラブ

民間の児童館の一部105㎡を借用（無償）しています。

開設日・開設時間は類型1のとおりで、業務委託料7,637千円を支出し、国・県からの補助金として5,091千円の収入があります。

施設は保育室1室、事務室1室で構成。定員40名に対し42人の登録（構成児童数は39人）となっています。

【課題の整理】

少子化に伴い児童数は減少傾向ですが、共働き世帯の増加により放課後子ども対策は、子育て支援の一環として今後も高いニーズが予想され、小学校区ごとに配置していくことが求められています。現在の施設配置は、市内12小学校区のうち10校区を対象に9クラブが設置されていますが、児童数や利用実態を精査するとともに、宇和地域の小学校の適正規模・適正配置の検討結果を勘案し、改めて配置のあり方について検討が必要です。

施設については、単独の専用施設や他の公共施設、民間施設を借用していますが、今後、学校施設の改築・大規模改修に備えて施設の設置基準を明確にしておくことが必要です。

管理運営についてはすべて社会福祉法人等への業務委託で実施していますが、単独の専用施設については、指定管理者制度への移行を検討し、より効果的・効率的な管理運営手法の検討が必要です。

利用料については委託先が設定していますが、令和2年より開所した新クラブを除いて、市からの業務委託であることに鑑み、統一した単価が設定されています。

ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

【基本方針】

【機能】【建物】

少子化の進展があるものの、共働き世帯や放課後の子供の安全へのニーズが高まっていることから、子育て支援の一環として今後も継続します。

施設は、児童 1 人当たりの面積基準（1.65 ㎡）の確保状況、老朽化の状況などを基に、児童の利便性と安全性の確保を考慮し、①学校校舎内への併設 ②学校敷地内への専用施設の設置 ③他の公共施設等との併設 ④民間施設の活用などにより、施設の配置を進め、②に該当する施設は必要な改修を行い継続使用するとともに、①及び③に該当する施設については、本体施設の大規模改修等にあわせて必要な改修を行います。

なお、小学校の適正規模・適正配置の検討結果に基づき、改めて施設配置のあり方について検討します。

【管理運営】

専用施設の管理運営手法について、指定管理者制度への移行について検討します。

また、利用料（保育料）について、他自治体の状況を精査し、負担の公平性の観点から、受益者負担の適正化を検討します。

【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能（ソフト）	建物（ハード）		
1	明浜	俵津	おれんじクラブ	継続	維持（長寿命化）		明浜中学校の施設内に設置しているもので、耐震基準を満たし、建築から34年経過しています。学校施設の整備計画にあわせて計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
2	宇和	中川	ななほし中川	継続	維持（長寿命化）		2022（令和4）年に専用施設へ移転・設置しているもので、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。専用施設であり、指定管理者制度への移行を検討します。
3	宇和	宇和	トロクラブ	継続	維持（長寿命化）		宇和児童館内に設置しているもので、耐震基準を満たし、建築から18年経過しています。計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
4	宇和	宇和	なかよしクラブ	継続	検討		当面、民間施設を借用し継続します。宇和地域の学校施設の再配置の検討結果に基づき、学校施設内への移転を含め、施設配置のあり方を検討します。
5	宇和	宇和	てっぺん広場	継続	検討		当面、民間施設を借用し継続します。宇和地域の学校施設の再配置の検討結果に基づき、学校施設内への移転を含め、施設配置のあり方を検討します。
6	宇和	皆田	明下田クラブ	継続	維持（長寿命化）		2021（令和3）年に専用施設へ移転・設置し、建築から1年経過しており、計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。専用施設であり、指定管理者制度への移行を検討します。
7	野村	野村	のむらキッズ	継続	維持（長寿命化）		野村児童館、図書館野村分館との複合施設で、耐震基準を満たし、建築から7年経過しています。複合施設であり、他の機能も継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
8	城川	魚成	しろかわキッズ	継続	維持（修繕）・検討		旧城川中学校教員宿舎を転用しているもので、耐震基準を満たし、建築から37年経過し老朽化が進んでいます。当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、学校施設内への移転を含め、今後のあり方を検討します。
9	三瓶	三瓶	すこやか児童クラブ	継続	検討		当面、民間施設を借用し継続します。学校施設内への移転を含め、施設配置のあり方を検討します。

【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール									
		機能 (ソフト)	建物 (ハード)	R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (5年目)	R10年度 (6年目)	R11年度 (7年目)	R12年度 (8年目)	R13年度 (9年目)	R14年度 (10年目)
○	基本方針 ・配置基準の検討 ・施設のあり方検討 ・管理運営のあり方検討 ・利用料金の検討			→ ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- → ・施設の配置基準の検討 ・施設のあり方検討 ・専用施設の管理運営のあり方検討 ・受益者負担の適正化の検討 検討結果に基づく対応									
1	おれんじクラブ	継続	維持 (長寿命化)	→ ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- → 保全計画の策定 ・複合化施設整備のスケジュールにあわせて対応 ・民間施設の借用が終了した場合、民間事業者で利活用を検討									
2	ななほし中川	継続	維持 (長寿命化)										
3	トロクラブ	継続	維持 (長寿命化)										
6	明下田クラブ	継続	維持 (長寿命化)										
7	のむらキッズ	継続	維持 (長寿命化)										
8	しろかわキッズ	継続	維持(修繕) ・検討	→ ↑ ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- → 施設のあり方検討 検討結果の反映 必要な修繕を行い継続使用									
4	なかよしクラブ	継続	検討	----- ↑ ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- → 当面民間施設を借用して継続 民間施設の借用が終了した場合、 民間事業者で利活用を検討									
5	てっぺん広場	継続	検討										
9	すこやか児童クラブ	継続	検討										
				→ ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- → 施設のあり方検討 検討結果に基づく対応									

エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間＝令和5年～令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型 現状維持した場合	長寿命型 本計画を実施した場合	単年度の比較		
					現状維持した場合	本計画を実施した場合	
1	おれんじクラブ	維持(長寿命化)			5,984	5,984	5-1 明浜中学校(教室棟)に記載
2	ななほし中川	維持(長寿命化)			5,704	5,704	
3	トロクラブ	維持(長寿命化)			7,233	7,233	6-4 宇和児童館に記載
4	なかよしクラブ	民間施設			7,704	7,704	
5	てっぺん広場	民間施設			6,439	6,439	
6	明下田クラブ	維持(長寿命化)	19,025	9,233	5,592	5,592	
7	のむらキッズ	維持(長寿命化)			7,312	7,312	2-1 図書交流館野村分館に記載
8	しろかわキッズ	維持(修繕)・検討			5,265	5,265	
9	すこやか児童クラブ	民間施設			7,637	7,637	
概算事業費(合計)			19,025	9,233	58,870	58,870	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②－①		単年度の維持管理 経費の比較④－③	
▲ 9,792		0	

6 子育て支援施設

(4) 幼児・児童施設

児童福祉法に基づき、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操を豊かにする施設として、児童館を宇和地域と野村地域に 2 施設を設置しています。なお、三瓶地域には民間の児童館が設置されているほか、明浜地域と城川地域には移動児童館を展開しています。

ア 施設概要（経過年数は令和 4（2022）年 3 月 31 日現在の状況。状況説明・収支はコロナ禍の影響が少ない令和元（2019）年度の実績。）

番号	地域	地区	施設名	基本情報												備考	施設番号
				複合施設	構造	建築年	経過年数	延床面積(m ²)	耐震性	貸室稼働率(%)	管理運営	職員数(人)	支出(千円)	収入(千円)	利用者数(人)(日平均)		
1	宇和	宇和	西予市宇和児童館	○	W	2004	18	640.72	○	-	直営	非7	10,963	0	19,417 (64.72)	トロクラブ	352
2	野村	野村	西予市野村児童館	○	RC	2015	7	374.85	○	-	直営	非3	7,761	266	9,553 (42.74)	図書交流館野村分館・のむらキッズ	169

注釈：西予市宇和児童館全体の延床面積743.60㎡の内訳（西予市宇和児童館640.72㎡、トロクラブ（放課後児童クラブ）102.88㎡）

西予市野村児童館全体の延床面積1591.41㎡の内訳（西予市野村児童館374.85㎡、西予市図書交流館野村分館846.81㎡、のむらキッズ（放課後児童クラブ）369.75㎡）

イ 現状と課題

2 施設とも耐震基準を満たし、建築から 20 年未満の施設です。

児童館は一般的に 18 歳までの児童青少年を対象としていますが、本市の児童館は主に乳幼児または小学生以下の児童を対象とし、開館日・開館時間は施設によって異なります。管理運営は市直営で、人件費含む管理運営費の総額は 18,724 千円を支出し、学童保育の使用する電気料・電話使用料・上下水道代を按分した費用 266 千円の収入があります。

各施設では、児童（小学生）への健全な遊びの場の提供や地域子育て支援センター機能を担い、2 施設合わせて年間約 3 万人が利用しています。

【各施設の状況】

1 西予市宇和児童館

木造 1 階建て、延べ床面積 743 ㎡のうち、640 ㎡を使用し、2004（平成 16）年に新耐震基準で建設し、建築から 18 年が経過しています。

開館日と開館時間は、年末年始と火曜日を除く毎日 9 時 30 分から 18 時までで、人件費を含む管理運営費 10,963 千円を支出し、収入はありません。

施設は、遊戯室、地域交流スペース、調理室、集会室、創作活動室、相談室、乳児室、静養室、学童保育施設で構成。親子遊び、クッキング、ベビーマッサージ、ヨガ、創作活動などの事業を毎月実施しているほか、夏祭りやハロウィンパーティー、クリスマス会などのイベントも行っており、事業参加人数は 4,700 人、一般利用を含めると年間約 2 万人の利用があります。

2 西予市野村児童館

野村地域教育福祉複合施設で、鉄筋コンクリート 2 階建て・延床面積 1,591 ㎡のうち 374 ㎡を使用し、2015（平成 27）年に新耐震基準で建設し、建築から 7 年経過しています。

開館日と開館時間は、年末年始と火・水曜日、木曜日の 8 時 30 分から 13 時までを除く毎日 8 時 30 分から 17 時までで、人件費を含む管理運営費 7,761 千円を支出し、光熱水費等の費用負担 266 千円の収入があります。

施設は集会室、屋内遊技場、創作活動室、療養・授乳室、学童保育室、図書館で構成。親子

遊び、音楽療法、ベビーマッサージ、創作活動などの事業を毎月実施しているほか、夏祭りやハロウィンパーティー、クリスマス会などのイベントも行っており、事業参加人数は2,400人、一般利用を含め年間約1万人が利用しています。

【課題の整理】

児童館は、18歳未満の児童を対象とする児童厚生施設となっているものの、本市の児童館は、主に乳幼児又は小学生以下の児童を対象とし、児童（小学生）への健全な遊びの場の提供や子育て支援センター機能を担っています。

一方、子育て広場や放課後児童クラブ、放課後子ども教室など類似の事業も展開していること、中学生以上の児童の活動・交流する機能（居場所づくり）のあり方も課題となっていることから、児童館のあり方について必要性を含めて検討が必要です。

ウ 基本方針と個別施設の方向性、スケジュール

【基本方針】

【機能】

児童館は、18歳未満の児童を対象とする児童厚生施設となっているものの、主に乳幼児や小学生以下の児童を対象とし、児童（小学生）への健全な遊びの場の提供や子育て支援センターとして運営しています。

しかしながら、保育所等でも子育て広場など乳幼児に対する子育て相談の場を設置しているほか、放課後児童クラブ、放課後子ども教室など類似の事業も展開していること、中学生以上の児童が活動・交流する居場所づくりも課題となっていることから、児童館のあり方について必要性を含めて検討します。

【施設】

耐震基準を満たしており、計画的な改修を行います。

【管理運営】

当面直営で運営しますが、上記のあり方検討のなかで、民間活力、地域力を活用した管理運営手法について検討します。

【個別施設の今後の方向性】

番号	地域	地区	施設名	施設の方向性		拠点施設	説明
				機能（ソフト）	建物（ハード）		
1	宇和	宇和	西予市宇和児童館	検討	維持（長寿命化）		現在の利用状況は就学前の児童の親子の遊び場の提供など子育て支援センター機能を中心としたものとなっており、18歳以下の児童青少年の健全育成を目的とした児童館としての事業展開が課題となっていることから、今後のあり方について検討します。 施設は、耐震基準を満たし、建築から18年経過しています。 計画的な改修を行い長寿命化を図ります。
2	野村	野村	西予市野村児童館	検討	維持（長寿命化）		現在の利用状況は就学前の児童の親子の遊び場の提供など子育て支援を中心としたものとなっており、18歳以下の児童青少年の健全育成を目的とした児童館としての事業展開が課題となっていることから、今後のあり方について検討します。 施設は、耐震基準を満たし、建築から7年経過しています。 複合施設であり、他の機能は継続することから、計画的な改修を行い長寿命化を図ります。

【個別施設の年度スケジュール】

番号	施設名	今後の方向性		年度スケジュール									
		機能 (ソフト)	建物 (ハード)	R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (5年目)	R10年度 (6年目)	R11年度 (7年目)	R12年度 (8年目)	R13年度 (9年目)	R14年度 (10年目)
○	基本方針 ・児童館のあり方検討			機能・施設のあり方の検討				検討結果を反映					
1	西予市宇和児童館	検討	維持 (長寿命化)	保全計画の策定				計画に基づく対応					
2	西予市野村児童館	検討	維持 (長寿命化)										

エ 将来の概算事業費と効果額

番号	施設名	建物の今後の 方向性	更新費用等の試算(千円) (40年間＝令和5年～令和44年)		維持管理費(千円)		備考
			総務省型	長寿命型	単年度の比較		
			現状維持 した場合	本計画を実施 した場合	現状維持 した場合	本計画を実施 した場合	
1	西予市宇和児童館	維持(長寿命化)	126,412	306,735	10,963	10,963	
2	西予市野村児童館	維持(長寿命化)			7,761	7,761	2-1 図書交流館野村分館に記載
概算事業費(合計)			126,412	306,735	18,724	18,724	

①	②	③	④
更新費用の試算比較 ②－①		単年度の維持管理 経費の比較④－③	
180,323		0	